国土交通省近畿地方整備局
Kinki Regional Development Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局	配布日時	平成３１年４月１０日 １４時００分
資　料　配　布		（国土交通本省　同時発表）

件　　名	「建設機械の騒音低減に資する技術」の試験方法等の意見募集について ～新技術の活用に向けて～

概　　要

一般社団法人　日本建設機械施工協会では、新技術活用システムの活用方式「テーマ設定型（技術公募）」の実施に向けて、『建設機械の騒音低減に資する技術』の要求性能等に対するご意見を、本日より１ヶ月間募集します。

１．意見募集の対象　　「建設機械の騒音低減に資する技術」の性能評価項目及び試験方法
２．募集期間　　平成３１年４月１０日（水）から令和元年５月１０日（金）

著しい騒音を発生する作業は、「騒音規制法」により特定建設作業として騒音の大きさが定められているため、作業に用いる建設機械は、低騒音型建設機械を使用します。ところが、特定建設作業以外の作業に用いる建設機械には、低騒音型建設機械がありません。一方で、建設機械の騒音を低減する新技術が開発され、新技術活用システムに複数登録されています。しかし、統一された評価項目で比較されておらず、現場状況に応じて最適な技術を選定するためには、試験方法及び評価方法を設定した上で、同一条件下で特徴や性能を比較表としてまとめる必要があります。

本募集は、新技術活用システムの活用方式「テーマ設定型（技術公募）」の実施にあたり、そのプロセスの一環として、「建設機械の騒音低減に資する技術」の要求性能等に対する意見を募集し、性能評価項目及び試験方法の設定の参考とするものです。

なお、本技術の「テーマ設定型（技術公募）」の実施は、平成30年6月末に第三者機関等として選定された一般社団法人　日本建設機械施工協会が行うものです。

※「テーマ設定型（技術公募）」：現場ニーズに基づき募集する技術テーマを設定し民間等の優れた新技術を公募して実現場で活用・評価する方式

「建設機械の騒音低減に資する技術」実施機関
（一社）日本建設機械施工協会　施工技術総合研究所　研究第三部　騒音担当
TEL：0545-35-0212　FAX：0545-35-3719　E-mail：netis-souon2019@cmi.or.jp
※意見募集要領等の取得および公募に関するお問合せは、実施機関HP（https://jcmanet.or.jp/ またはhttp://www.cmi.or.jp/）もしくは上記連絡先までご連絡ください。

取　扱　い	――――――

配 布 場 所	近畿建設記者クラブ　大手前記者クラブ

問 合 せ 先

新技術活用システムおよびNETISについて
国土交通省 近畿地方整備局
TEL：06-6942-1141（代表） 06-6920-6023（直通）　FAX：06-6942-4439
企画部 施工企画課　課　長　児玉　孝司　（こだま　たかし）
企画部 施工企画課　課長補佐　味田　悟　（みた　さとる）

（参考）公共工事等における新技術活用システムの概要

国土交通省

民間事業者等により開発された有用な新技術を公共工事等において積極的に活用・評価し、技術開発を促進していくためのシステム。

公共工事等における新技術活用システム

技術の開発・実用化

新技術データベース
『NETIS』
Web上で情報提供
http://www.netis.mlit.go.jp

登録

公共工事等に関する、実用化された技術を申請、登録

各地方整備局技術事務所等にて受付

NETIS
（評価情報）
約850件

NETIS
（申請情報）
約2,800件

（件数：H30.4時点）

活用

直轄工事等において、施工条件等に適した新技術を活用

・年間約5,200件（44%）の直轄工事で活用
・活用延べ新技術数は、年間約19,000技術

事後評価

技術の成立性や活用効果等を5件以上の活用結果に基づき評価

現場活用を迅速化する取組の強化（H28から）

- テーマ設定：直轄工事等における現場ニーズに沿ったテーマを設定
- 公募
- 試行調査：適合性の検証
- 評価・認定：適合技術の選別

迅速化

有用な技術の積極的な活用

更なる技術の開発・改良
技術開発成果（有用な技術）の普及

技術のスパイラルアップ